OpenAM Apache Policy Agent4 インストールガイド



オープンソース・ソリューション・テクノロジ(株)

更新日 2020年1月31日



目次

1	はじめに	1
1.1	本書の目的	1
1.2	前提条件	1
1.3	略語	1
2	システム要件	2
2.1	ソフトウェア要件	2
2.2	ハードウェア要件	2
2.3	パッケージ構成	2
3	パッケージのインストール	4
3.1	Apache HTTP Server のインストール	4
3.2	パッケージの確認	4
3.3	パッケージのインストール	4
4	パッケージのアップデート	6
4.1	パッケージの確認	6
4.2	OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージのアップデート	6
4.3	httpd の停止	7
4.4	OpenAM Apache Policy Agent4 パッケージのアップデート	7
4.5	httpd 起動	7
5	改版履歷	8



1 はじめに

1.1 本書の目的

本文書は、弊社提供の OpenAM Apache Policy Agent4 パッケージのインストールと初期 設定を実施するための手順書です。 OpenAM Apache Policy Agent のインストールやアップ デートの際には、必ず本文書の内容を確認してから作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い 合わせください。

1.2 前提条件

本書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。
- OS のセキュア OS 機能 (SELinux 等) やファイアウォール機能を無効にすること。
 - ファイアウォールを有効化した状態で Apache 2.4 Policy Agent を運用すること も可能です。手順の簡略化のために、本書ではファイアウォールが無効化されて いることを前提とします。
- 管理ユーザー root のシェル端末で作業すること。(作業ユーザーを指定している場合を除く)
- 製品パッケージファイル群をインストール対象環境の/srv/osstech-work/software/RPMS ディレクトリ以下にコピーしておくこと。

1.3 略語

本文書では必要に応じて以下のような略語を用います。

- •「Red Hat Enterprise Linux」を「RHEL」と表記します。
- •「オープンソース・ソリューション・テクノロジ」を「OSSTech」と表記します。



2 システム要件

2.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS 環境が必要です。

- Red Hat Enterprise Linux 8 / CentOS 8 (x86-64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 / CentOS 7 (x86-64)
- Red Hat Enterprise Linux 6 / CentOS 6 (x86-64)
- Amazon Linux 2 (x86-64)

以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- Apache HTTP Server 2.2 (RHEL 6 または CentOS 6 の場合)
- Apache HTTP Server 2.4 (Amazon Linux 2 または RHEL 7,8 または CentOS 7,8 の場合)

Apache は OS が提供するバンドル版の Apache のみサポート対象です。自身でコンパイルして導入した Apache はサポート対象外となります。

- MPM は、prefork または worker のみサポート対象です。
- RHEL 8 および CentOS 8 では上記に加えて event MPM もサポート対象です。

2.2 ハードウェア要件

- メモリ:1GB 以上
- ディスク
- インストール領域: /opt/osstech 1GB 以上

2.3 パッケージ構成

弊社が提供する Linux 版ソフトウェアは以下のパッケージにより構成されています。

- 1. OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
- osstech-base
- osstech-support
- 2. OpenAM Apache Policy Agent4 パッケージ



- osstech-openam-agent4-apache22(RHEL 6 または CentOS 6 の場合)
- osstech-openam-agent4-apache24(RHEL 7,8 または CentOS 7,8 または Amazon Linux 2 の場合)

本書ではパッケージのマイナーバージョンは XX と表記します。実際のファイル名には XX はバージョン番号が入ります。またオペレーティングシステムのメジャーバージョン el7 と表記します。 RHEL 6 または CentOS 6 に導入する場合は el6, RHEL 8 または CentOS 8 に導入する場合は el8 と読み替えてください。

Amazon Linux 2 には el7 の Agent のパッケージをインストールします。



3 パッケージのインストール

3.1 Apache HTTP Server のインストール

OpenAM Apache Policy Agent4 は Apache HTTP Server 上で動作します。Apache HTTP Server がインストールされていない場合、インストールを行って下さい。

3.2 パッケージの確認

パッケージ展開先のディレクトリに弊社提供のパッケージー式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech-work/software/RPMS
# ls
install.sh x86_64
# ls x86_64
osstech-base-X.X-XX.el7.noarch.rpm
osstech-openam-agent4-apache24-4.X.X-X.el7.x86_64.rpm
osstech-support-X.X-XX.el7.noarch.rpm
repodata
```

3.3 パッケージのインストール

yum でパッケージインストールができる環境の場合、以下のコマンドを実行しインストールを実施します。

```
# ./install.sh
```

コマンドを実行すると「Is this ok [y/N]:」という出力があります。ここで「y」を入力すると、依存パッケージも含めてパッケージー式がインストールされます。

この「install」コマンドは「yum」に依存しています。したがって、これまで yum コマンドを実行したことがない場合はもう一度「Is this ok [y/N]:」という出力があります。問いかけの意味については yum のマニュアルをご覧ください。

以下の出力が得られれば完了です。

```
完了しました! (もしくは Complete!)
```

yum でパッケージインストールができない環境の場合、依存パッケージインストール後、 以下のように rpm コマンドを使用してパッケージインストールを実施します。



```
# cd x86_64
# rpm -ivh osstech-base*.rpm \
> osstech-support*.rpm \
> osstech-openam-agent4*.rpm
```

以下の出力が得られれば完了です。

...(省略) [100%]



4 パッケージのアップデート

4.1 パッケージの確認

パッケージ展開先のディレクトリに弊社提供のパッケージー式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech-work/software/RPMS
# ls
install.sh x86_64
# ls x86_64
osstech-base-X.X-XX.el7.noarch.rpm
osstech-openam-agent4-apache24-4.X.X-X.el7.x86_64.rpm
osstech-support-X.X-XX.el7.noarch.rpm
repodata
```

4.2 OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージのアップデート

最初に osstech-base パッケージと osstech-support パッケージのアップデートを rpm コマンドで行います。

```
# cd x86_64
# rpm -Uvh osstech-base*.rpm \
> osstech-support*.rpm
```

既に最新のパッケージがインストール済みの場合、下記のエラーが表示されます。この場合はインストール済みのパッケージをアップデートする必要はありませんので、アップデート不要なパッケージを、ディレクトリから除いておき、再度、アップデートを試みます。

```
# cd x86_64
# rpm -Uvh osstech-base*.rpm \
> osstech-support*.rpm
準備中... ############################## [100%]
パッケージ osstech-base-3.0-81.el7 は既にインストールされています。
パッケージ osstech-support-3.0-81.el7 は既にインストールされています。
```

上記の例の場合、osstech-base パッケージと osstech-support パッケージのアップデートが不要なことを表しています。そのため osstech-base と osstech-support パッケージのアップ



デートは必要ありません。次の項目に進んでください。

4.3 httpd の停止

OpenAM Apache Policy Agent パッケージを行う前に、Apache を停止します。

• RHEL 7,8 または CentOS 7,8 または Amazon Linux 2 の場合

systemctl stop httpd.service

• RHEL 6 または CentOS 6 の場合

/sbin/service httpd stop

4.4 OpenAM Apache Policy Agent4 パッケージのアップ デート

Policy Agent パッケージをアップデートします。

rpm -Uvh osstech-openam-agent4*.rpm

4.5 httpd 起動

Policy Agent パッケージをアップデート後、Apache を起動します。

• RHEL 7,8 または CentOS 7,8 または Amazon Linux 2 の場合

systemctl start httpd.service

• RHEL 6 または CentOS 6 の場合

/sbin/service httpd start

以上でパッケージのアップデートは完了です。



5 改版履歴

- 2016年7月8日 リビジョン 1.0
 - 初版作成
- 2017年1月27日リビジョン1.1
 - インストールおよびアップデート方法の変更に伴う修正
- 2019年12月25日リビジョン1.2
 - RHEL8/CentOS8 対応に伴い記述を追加
- 2020年1月31日リビジョン1.3
 - Amazon Linux 2 対応に伴い記述を追加